

平成31年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査結果
～概要と課題、そして改善に向けて～

令和2年2月
稚内市教育委員会

目次

1	調査の概要	1
2	調査結果	3
	(1) 学力調査(調査問題)	3
	① 小学校国語	3
	② 小学校算数	6
	③ 中学校国語	9
	④ 中学校数学	11
	⑥ 中学校英語	14
	(2) 学習状況調査(質問紙調査)	18
	(3) 質問紙調査票の項目と正答率との関係	24
	(4) 学校調査(質問紙調査)	25
3	小中学校の状況及び学力向上策	27

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ① 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することにより、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 各教育委員会や学校等が、全国的な状況との関係において、教育及び教育施策の成果と課題を把握・分析し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ③ 各学校が、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査の対象とする児童生徒

稚内市立学校の以下の学年を、原則として全児童生徒を対象に実施した。

【小学校調査】 小学校第6学年

【中学校調査】 中学校第3学年

(3) 調査事項及び手法

① 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

- ・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※上記を一体的に問う。

② 質問紙調査

[児童生徒に対する調査]

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

[学校に対する調査]

指導方法等に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

(4) 調査日時・回答児童生徒数

平成31年4月18日（木）

【小学校調査】

1 時限目	2 時限目	
238 名	238 名	238 名
国語 (45 分)	算数 (45 分)	児童質問紙 (20～40 分程度)

【中学校調査】

1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目	5 時限目
258 名	258 名	258 名	258 名	258 名
国語 (50 分)	数学 (50 分)	英語 「聞くこと」 「読むこと」 「書くこと」 (45 分)	生徒質問紙 (20～45 分程 度) 等	英語 「話すこと」

(5) 留意事項

本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況を把握することを目的として実施しておりますが、実施教科が特定の教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことから、本調査の結果については、児童生徒が身につけるべき学力の特定の一部分であることに留意することが必要です。

本調査の結果については、個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人ひとりの学習改善や学習意欲の向上につなげることが重要です。

調査結果の分析については、本市の正答率によって、次のとおり整理しています。

正答率 80%以上	★★★★★	(達成)
60%以上 80%未満	★★★★	
50%以上 60%未満	★★★	
50%未満	★	

また、全国の正答率に加え、さらに本市との比較を次のとおり表記しています。

全国の正答率に対し、

5ポイントを超えて低い	▼▼	(下回っている)
5ポイント以内のマイナス	▼	(ほぼ同程度-やや下回っている)
5ポイント以内のプラス	△	(ほぼ同程度-やや上回っている)
5ポイントを超えて高い	△△	(上回っている)

質問紙調査では、「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合が80%を超えたものを「高い傾向」、60%未満のものを「低い傾向」と分類しています。

平成31年度全国学力・学習状況調査の調査問題と質問調査の内容は、国立教育政策研究所のホームページに掲載されています。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

2 調査結果

(1) 学力調査 (調査問題)

① 小学校国語

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	★★★	72.3	▼▼
書くこと	★	54.5	▼▼
読むこと	★★★★	81.7	▼
言語事項	★	53.5	▼▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】で〈資料2〉と〈資料3〉をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する	図表やグラフなどを用いた目的を捉える	★★★★	71.2	▼
1二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2) 公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する	情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える	★★	63.4	▼▼
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の <input type="text"/> に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く	★	28.8	▼▼
1四 (1)ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の——部アを、漢字を使って書き直す (調査のたいしょう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	★	41.9	▼
1四 (1)イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の——部イを、漢字を使って書き直す (友達にかぎらず)		★★★★	69.4	▼
1四 (1)ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の——部ウを、漢字を使って書き直す (かんしんをもってもらいたい)		★	35.6	▼▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1四 (2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	★	47.8	▼▼
2一 (1)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□アに入る、疑問に思ったこと□の①に対する答えとして適切なものを選択する	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む	★★★★	80.7	▼
2一 (2)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□イに、疑問に思ったこと□の②に対する答えになるように考えて書く		★★★★	75.9	▼
2二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む	★★★★★	88.5	△
3一	昼職人への【インタビューの様子】の□アに入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする	★★★★	81.3	▼▼
3二	昼職人への【インタビューの様子】の□の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する	目的に応じて、質問を工夫する	★★★★	67.4	▼
3三	【インタビューの様子】の□イに、昼職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	★★★★	68.2	▼▼
3四	ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の□ウに入る適切なものを選択する（習うより慣れよ）	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる	★★★★	73.0	▼▼

【下位層の割合】

区 分		正答数	全国の下位約 25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
平成 29 年度	A (知識)	15 問中 9 問以下	22.5	21.3	4.7
	B (活用)	9 問中 3 問以下	27.2	23.2	4.0
平成 30 年度	A (知識)	12 問中 6 問以下	27.9	22.0	5.9
	B (活用)	8 問中 2 問以下	24.8	18.6	6.2
平成 31 年度		14 問中 6 問以下	29.8	23.5	6.3

【全国平均を超えた設問】

目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む

【課題と改善点】

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う

- 文の中で漢字を使う（かんしんをもって）同音異義語の「感心」との意味の違いを捉えることができていない。

《学習指導にあたって》

日常的に文や文章の中で適切に使うことができるようにすることが大切である。そのためには、新出漢字を読み方や字形に注意して繰り返し練習することにとどまらず、自分が書いた文章を見直す中で、漢字の持つ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるようにすることが大切である。特に同音異義語の学習指導に当たっては、同じ音からいくつかの熟語を思い浮かべ、それぞれの意味を考えて文脈にふさわしい熟語を選んで書くことができるようにする。

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く

- 調べてわかった事実に対する自分の考えを、理由や根拠を明確にして書くことに課題がある。

《学習指導にあたって》

自分の考えが相手に伝わるように書くためには、事実と考えとを区別して書いたり、理由を明確にして自分の考えをまとめたりすることが大切である。その際、文章の種類や特徴を踏まえて書くことが重要である。児童の文章では敬体と常体が混在することがあるので、読み直して統一することができるようにする。

ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

- 「ならうよりなれよ」という発言の内容と「ノートの一部」の中の「意味」との関係づけて捉え、文の中で適切に用いることができなかった。

《学習指導にあたって》

ことわざや慣用句の意味や使い方を正しく理解し、日常生活における表現の中で使うことができるようにすることは、児童の語彙を増やし、表現を豊かにする上で大切である。そのためには、普段の学習や生活の場面で見つけたことわざや慣用句について辞典などで意味や使い方を確認し、ノートやカードなどに記録することに実感を持って捉えたり使ったりできるようにする。

② 小学校算数

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
数と計算	★★	63.2	▼▼
量と測定	★	52.9	▼▼
図形	★★★	76.7	▼
数量関係	★★★	68.3	▼▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1 (1)	長方形を直線で切ってできた図形の中から、台形を選ぶ	台形について理解している	★★★★★	93.1	▼
1 (2)	二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくりすることができる形を選ぶ	図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる	★★	60.3	▼▼
1 (3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる	★	43.9	▼▼
2 (1)	1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ	棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる	★★★★★	95.2	△
2 (2)	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる	★★★	78.6	▼▼
2 (3)	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く	資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる	★	52.1	▼▼
2 (4)	洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	★★	60.1	▼
3 (1)	$350 - 97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる	★★★	81.8	▼▼

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
3 (2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようなのかを書く	示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる	★	31.1	▼▼
3 (3)	被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する	示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる	★★★	74.9	▼▼
3 (4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	示された除法の式の意味を理解している	★	47.0	▼
4 (1)	だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ	目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる	★★★	82.7	▼▼
4 (2)	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求める式を書く	示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる	★★★	68.6	▼
4 (3)	残り7ポール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する	場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる	★★	62.6	▼▼

【下位層の割合】

区分		正答数	全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
平成29年度	A (知識)	15問中10問以下	32.7	27.3	5.4
	B (活用)	11問中3問以下	35.6	30.5	5.1
平成30年度	A (知識)	14問中6問以下	32.2	24.3	7.9
	B (活用)	10問中2問以下	32.3	19.6	12.7
平成31年度		14問中6問以下	29.4	19.5	9.9

【全国平均を超えた設問】

棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる

【全国平均とほぼ同じ設問】

台形について理解している

【課題と改善点】

2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる

●資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることに課題がある。

《学習指導にあたって》

資料の特徴や傾向を読み取る際には、目的に応じて、差を求めたり、何倍かを求めたりすることで、資料の中の数量の大きさの関係を読み取ることが重要である。

示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる

●示された計算の成り立つ性質をもとにして計算の仕方を解釈し、与えられた式の計算に適用することができない。

《学習指導にあたって》

計算をするにあたってその計算が確実にできるとともに、必要に応じて、数の相対的な大きさを捉えたり、一つの数を他の数の積として見たりするなど、数を多面的にみて、計算にかんして成り立つ性質を活用することで、計算を能率的にするために工夫することができるようにすることが重要である。

場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる

●場面の状況に応じて、数理的に捉え、数学的に表現・処理し、得られた結果から判断することに課題がある。

《学習指導にあたって》

日常生活において、場面の状況に応じて、物事を判断したり、解決過程や結果を振り返り、判断したことをより適したものに改善したりすることができる。場面の状況が変化した場合条件に当てはまるかどうかを判断し直す活動が考えられる。状況の変化に伴って変わることや変わらないことを捉え、判断し直すことができるようにすることが大切である。

③ 中学校国語

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	★★★	70.2	▼
書くこと	★★★	82.6	▼
読むこと	★★★	72.2	▼
伝統的な言語文化と国語の特質	★★★	67.7	▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1一	「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ	★★	63.9	▼
1二	「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える	★★	61.5	▼
1三	「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ	★★★★★	91.2	▼
1四	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く	封筒の書き方を理解して書く	★★	56.8	▼
2一	話し合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える	★★★★★	80.4	△
2二	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	相手に分かりやすく伝わる表現について理解する	★★★	69.7	△
2三	話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く	話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ	★★	60.4	▼▼
3一	意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する	★★★★★	87.4	▼
3二	広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く	★★★	77.8	▼▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
4	語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する	語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する	★★★	78.7	▼

【下位層の割合】

区 分	正答数	全国の下位約 25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)			
		稚内市	全国	全国との比較	
平成 29 年度	A (知識)	32 問中 21 問以下	41.7	23.2	18.5
	B (活用)	9 問中 5 問以下	31.0	27.8	3.2
平成 30 年度	A (知識)	32 問中 21 問以下	31.8	23.2	8.6
	B (活用)	9 問中 3 問以下	27.2	17.5	9.7
平成 31 年度		10 問中 5 問以下	22.4	21.4	1.0

【全国平均を超えた設問】

話し合いの話題や方向を捉える

相手に分かりやすく伝わる表現について理解する

【全国平均とほぼ同じ設問】

封筒の書き方を理解して書く

【課題と改善点】

話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ

- 話し合いの話題や方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして自分の考えをまとめることに課題がある。

《学習指導にあたって》

話し合いをする際には、話題や方向を的確に捉え、自分の考えを持ちながら参加するように指導することが大切である。必要に応じて話し合いの話題について確認したり、話し合いの経過を捉えたりすることができるように指導する。

伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く

- 文章や資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。

《学習指導にあたって》

説得力のある文章にするためには、自分の考えを支える根拠を明確にして書くように指導することが大切である。自分の考えを支える根拠として、複数の実例や専門的な立場からの見地などを示すように指導することも重要である。

④ 中学校数学

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
数と式	★★	63.8	▼▼
図形	★★★	72.4	▼▼
関数	★	40.8	▼▼
資料の活用	★★	56.3	▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1	a と b が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ	数の集合と四則計算の可能性について理解している	★★★	62.2	▼
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	★★★	70.1	▼
3	$\triangle ABC$ を、矢印の方向に $\triangle DEF$ まで平行移動したとき、移動の距離を求める	平行移動の意味を理解している	★★★	83.6	▼▼
4	反比例の表から式を求める	反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことができる	★	48.9	▼▼
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができる	★★★	72.8	△
6 (1)	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を表すものを選ぶ	グラフ上の点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を、事象に即して解釈することができる	★	38.8	▼▼
6 (2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	★	34.7	▼▼
7 (1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	★★★	75.8	▼
7 (2)	ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ	反例の意味を理解している	★★★	77.2	▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
7 (3)	四角形ABCDがどのような四角形であれば、 $AF = CE$ になるかを説明する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる	★	53.3	▼▼
8 (1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる	★★	57.9	▼▼
8 (2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	★	40.8	▼
8 (3)	図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ	問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる	★	53.6	▼▼
9 (1)	説明をよみ、 $6n + 9$ を $3(2n + 3)$ に変形する理由を完成する	与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる	★	57.4	▼▼
9 (2)	連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する	事柄が成り立つ理由を説明することができる	★	59.7	▼▼
9 (3)	連続する4つの奇数の和が $4(2n + 4)$ で表されたとき、 $2n + 4$ はどんな数であるかを選ぶ	総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる	★★★	69.6	▼

【下位層の割合】

区 分		正答数	全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
平成29年度	A (知識)	36問中17問以下	33.9	25.2	8.7
	B (活用)	15問中4問以下	32.9	22.5	10.4
平成30年度	A (知識)	36問中17問以下	34.6	23.3	11.3
	B (活用)	14問中3問以下	32.3	22.8	9.5
平成31年度		16問中5問以下	27.8	20.5	7.3

【全国平均を超えた設問】

簡単な場合について、確率を求めることができる

【全国平均とほぼ同じ設問】

数の集合と四則計算の可能性について理解している

簡単な連立二元一次方程式を解くことができる

【課題と改善点】

反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことができる

- 具体的な事象の中から伴って変わる二つの数量を取り出してその変化や対応の様子に着目し

て関数関係を見出しその特徴を調べるために、2つの数量関係を、表、式、グラフで表現することに課題が見られる。

《学習指導にあたって》

表と式を関連付ける活動を取り入れ、反比例における比例定数や対応の特徴を捉え、 x と y の関係を式で表すことができるように指導する。

比例、反比例の特徴を見出し考察する際に、その比例、反比例の関係を表、式、グラフを用いて表現することができるように指導することが大切である。

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる

●具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、関数関係を見出し表現し考察する能力に課題がある。

《学習指導にあたって》

様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、表、式、グラフなどの「用いるもの」とその「用い方」について明らかにできるように指導する。

結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる

●図形の合同について理解し、図形についての見方を深めるとともに、論理的に考察し表現することに課題がある。

《学習指導にあたって》

与えられた事柄や予想した事柄が成り立つかどうかを、具体的な例を挙げて調べる活動を通して、結論が成り立つための前提を考え、見出した事柄を数学的に表現できるように指導する。

与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる

●具体的な事象の中に数量関係を見出し、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うことに課題がある。

《学習指導にあたって》

文字式を用いた説明を読む際には、説明すべき事柄に照らし合わせて式変形の目的を捉えることが大切である。

さらに、成り立つと予想と予想した事柄について説明する際に、説明すべき事柄について、どのような式で表現すればよいかを考えるなどの見通しを持って取り組むことで、式変形の目的を捉えることが大切である。

目的に応じて指揮を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる

●具体的な事象の中に数量の関係を見出し、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算に課題がある。

《学習指導にあたって》

事柄が一般的に成り立つ理由を、文字式や言葉を用いて根拠を明らかにして説明できるように指導することが必要である。

⑤ 中学校英語

【学習指導要領の領域別集計結果】

区 分	正答率 (%)		
	稚内市	全国	全国との比較
聞くこと	★★★	67.9	▼▼
話すこと (参考値)			
読むこと	★	55.6	▼▼
書くこと	★	45.8	▼▼

【設問別集計結果】

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる	★★★★★	91.1	▼
1 (2)	教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する	教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる	★★★	88.6	▼▼
1 (3)	外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	★★	72.3	▼▼
1 (4)	家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	★★	61.8	▼
2	イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる	★★★	71.8	▼
3	天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる	★★★	82.0	▼
4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	★	7.6	▼
5 (1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	★★★	79.4	▼
5 (2)	ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	★★★	74.4	▼▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
5 (3)	月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する	日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	★★★	73.1	▼▼
6	発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する	まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる	★★	62.9	▼▼
7	チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する	まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる	★	32.8	▼
8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる	★	10.9	▼▼
9 (1) ①	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文中で適切に接続詞を用いることができる	★★★	79.9	▼▼
9 (1) ②	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文中で適切に接続詞を用いることができる	★★	58.2	▼▼
9 (2) ①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる	★★★	73.6	▼
9 (2) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる	★	28.9	▼▼
9 (3) ①	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる	★	53.5	▼▼
9 (3) ②	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる	★	32.9	▼▼
9 (3) ③	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる	★	37.4	▼▼

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率 (%)		
			稚内市	全国	全国との比較
10	学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる	★	1.8	▼

【下位層の割合】

区 分	正答数	全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合 (%)		
		稚内市	全国	全国との比較
平成31年度	21問中8問以下	36.3	21.7	14.6

【全国平均とほぼ同じ設問】

語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる

日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる

与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる

【課題と改善点】

日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる

- 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴を捉え、正しく聞き取ること
- に課題がある。

《学習指導にあたって》

情報を正確に聞き取るためには、英語の音声の特徴を踏まえて、事実や出来事などについての必要な情報を正しく理解する必要がある。指導に当たっては、教師が自然な口調の英語を用いるように話すなど、日常的に「聞くこと」を通して理解する活動を繰り返し行っていく必要がある。

まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる

- 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ることに課題がある。

《学習指導にあたって》

説明文や、エッセイ、物語など、まとまりのある文章のあらすじを読み取る際には、文章全体を通して、段落相互の関係を考えながら読むことが大切である。指導に当たっては、読みやすい部分を手掛かりにしながら、読みづらい部分についても、推測して読み進めていくようにしたい。

文の中で適切に接続詞を用いることができる

- 語と語のつながりなどに注意をして正しく文を書くことに課題がある。

《学習指導にあたって》

接続詞は、語と語、文と文を結束させ、文章を書く上で重要な役割を果たすものである。その際、節を導く接続詞の習得には論理関係の理解が必要であるため時間がかかることから、言語活動を通して指導していくことが重要である。

一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる

- 会話の流れから時制を判断して、1人称、2人称の英文を正しい語順で書くこと、基本的な語や文法事項などを理解して正しく文を書くことに課題がある。

《学習指導にあたって》

場面や状況から文の形式や動詞の形を適切に判断し正確に書くことができるようにする。

一文のみを示して空欄の動詞の形を変えさせるのではなく、対話や文章の流れからふさわしい分の形式や時制を考えさせる活動などが考えられる。

与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる

- 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことに課題がある。

与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる

- 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことに課題がある。

《学習指導にあたって》

語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができるようにする。

言語素材を正しく用いて、伝えたい内容が読み手に伝わるように正確に文を書くことができるように指導することが大切である。特定の言語材料のみを用いて文を書かせるだけではなく、コミュニケーションの目的や場面、状況にある言語活動において、様々な個別の知識を活用させて文を書かせることを授業の中に位置づけるようにしたい。また、生徒の誤りについて生徒自身に考えさせるなどの指導を繰り返すことを通して、学習内容の理解が深まり、実際のコミュニケーションにおいて活用できる程度の技能を身に着けることにつながることを意識することが重要である。

具体的な指導として

- ・憧れの人物や友達紹介など、3人称を扱った言語材料を聞いたり、読んだり、話したり、書いたりして様々な場面で繰り返し使用する活動
- ・生徒同士で書いたものを互いに読み合い、誤りに気付き、修正を加える活動

(2) 学習状況調査(質問紙調査)

① 小学校児童質問紙調査

○「高い傾向」を示した質問項目

設問 番号	質問事項	稚内市	全国	差
(15)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.4	97.1	▲ 1.7
(9)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.5	95.2	▲ 0.7
(16)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.7	95.2	▲ 1.5
(38)	国語の勉強は大切だと思いますか	93.3	93.0	0.3
(1)	朝食を毎日食べていますか	91.2	95.3	▲ 4.1
(40)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.2	91.2	0.0
(13)	学校のきまりを守っていますか	90.0	92.3	▲ 2.3
(7)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	89.5	91.7	▲ 2.2
(47)	算数の勉強は大切だと思いますか	89.1	93.7	▲ 4.6
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	88.7	91.6	▲ 2.9
(49)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	88.6	92.5	▲ 3.9
(55)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	87.8	87.0	0.8
(28)	授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか	87.0	86.5	0.5
(23)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	86.6	68.0	18.6
(39)	国語の授業の内容はよく分かりますか	83.2	84.9	▲ 1.7
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか	82.8	85.8	▲ 3.0
(14)	人が困っているときは、進んで助けていますか	82.7	87.9	▲ 5.2
(8)	将来の夢や目標を持っていますか	82.3	83.8	▲ 1.5
(11)	学級みんなで話し合っ決めてことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか	81.9	84.1	▲ 2.2
(54)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	81.1	84.0	▲ 2.9
(6)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	80.3	86.1	▲ 5.8
(42)	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか	80.3	78.1	2.2

●「低い傾向」を示した質問項目

設問番号	質問事項	稚内市	全国	差
(22)	新聞を読んでいますか	20.2	19.0	1.2
(27)	5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか	50.8	30.6	20.2
(31)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか	54.2	65.7	▲ 11.5
(36)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	57.1	62.5	▲ 5.4
(22)	新聞を読んでいますか	20.2	19.0	1.2

□その他

質問(18)：学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

区分	3時間以上	2時間以上, 3時間より少ない	1時間以上, 2時間より少ない	30分以上, 1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
稚内市	6.3	10.1	45.0	30.3	8.0	0.4
全国	12.4	16.9	36.8	24.1	7.6	2.3

質問(19)：学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

区分	2時間以上	1時間以上, 2時間より少ない	30分以上, 1時間より少ない	10分以上, 30分より少ない	10分より少ない	全くしない
稚内市	8.8	12.6	21.4	30.3	11.8	15.1
全国	7.0	11.3	21.5	25.9	15.6	18.7

質問(20)：昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか

区分	だいたい週に4回以上行く	週に1~3回程度行く	月に1~3回程度行く	年に数回程度行く	ほとんど、または、全く行かない
稚内市	6.3	10.1	22.7	33.2	27.3
全国	3.5	13.7	23.3	29.4	29.9

質問(45)：今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか

区分	全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった	書く問題は全く解答しなかった
稚内市	76.1	20.6	1.7
全国	80.4	17.4	1.7

質問(56)：今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか

区分	全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた	書く問題は全く解答しなかった
稚内市	72.3	26.1	0.8
全国	80.7	17.6	1.3

※「□その他」の質問は、回答に「その他」、「無回答」がある場合、割合の合計が100%とならないことがあります。

② 中学校生徒質問紙調査

○「高い傾向」を示した質問項目

設問 番号	質問事項	稚内市	全国	差
(1)	朝食を毎日食べていますか	94.6	93.1	1.5
(13)	学校の規則を守っていますか	93.5	96.2	▲ 2.7
(16)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.5	94.3	▲ 0.8
(67)	解答時間は十分でしたか (国語)	92.7	90.3	2.4
(9)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	92.6	93.9	▲ 1.3
(15)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	91.5	95.1	▲ 3.6
(68)	解答時間は十分でしたか (数学)	91.1	84.7	6.4
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	90.7	92.8	▲ 2.1
(41)	国語の勉強は大切だと思いますか	90.0	91.0	▲ 1.0
(27)	学校の部活動に参加していますか	88.9	86.6	2.3
(43)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	86.9	88.0	▲ 1.1
(14)	人が困っているときは、進んで助けていますか	84.7	85.9	▲ 1.2
(7)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	84.6	84.6	0.0
(61)	1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで (一文一文ではなく全体の) 概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	82.6	81.2	1.4
(6)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	81.9	81.5	0.4
(57)	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	81.9	85.4	▲ 3.5
(60)	1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて (一文一文ではなく全体の) 概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	81.5	79.2	2.3
(4)	家の人 (兄弟姉妹を除く) と学校での出来事について話をしますか	81.2	76.4	4.8
(23)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	81.2	50.6	30.6
(39)	1, 2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	80.7	76.6	4.1

●「低い傾向」を示した質問項目

設問番号	質問事項	稚内市	全国	差
(22)	新聞を読んでいますか	17.7	12.7	5.0
(58)	あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）が十分にありましたか	27.7	33.8	▲ 6.1
(30)	1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか	31.1	30.6	0.5
(59)	あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いませんか	32.3	41.3	▲ 9.0
(24)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	45.0	39.4	5.6
(49)	数学の勉強は好きですか	48.9	57.9	▲ 9.0
(17)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	52.7	50.4	2.3
(26)	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いませんか	56.6	59.3	▲ 2.7
(54)	英語の勉強は好きですか	59.6	56.0	3.6

□その他

質問(18)：学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わってる時間も含む）

区分	3時間以上	2時間以上, 3時間より少ない	1時間以上, 2時間より少ない	30分以上, 1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
稚内市	2.3	14.2	31.9	33.5	12.7	5.4
全国	9.9	25.6	34.3	17.2	8.4	4.4

質問(19)：学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

区分	2時間以上	1時間以上, 2時間より少ない	30分以上, 1時間より少ない	10分以上, 30分より少ない	10分より少ない	全くしない
稚内市	5.0	7.7	14.2	18.1	16.5	38.5
全国	4.5	7.6	14.6	23.4	14.8	34.8

質問(20)：昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか

区分	だいたい週に4回以上行く	週に1~3回程度行く	月に1~3回程度行く	年に数回程度行く	ほとんど、または、全く行かない
稚内市	2.3	4.6	8.5	28.1	56.5
全国	2.1	6.2	12.1	24.1	55.3

質問(28)：普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、部活動をしますか

区分	3時間以上	2時間以上, 3時間より少ない	1時間以上, 2時間より少ない	30分以上, 1時間より少ない	30分より少ない	全くしない
稚内市	4.6	46.9	36.5	3.1	0.8	8.1
全国	10.0	43.0	31.0	3.2	1.0	11.7

質問(29)：学校の部活動に参加する主な理由は、以下のうちどれですか

区分	体力・技術を向上させた いから	大会・コンク ール等で良 い成績を収 めたいから	仲間を増や したいから	楽しいから	時間がある から	周囲の人が 参加してい るから	部活動には 参加してい ない
稚内市	26.9	14.6	0.0	36.2	2.7	6.5	10.0
全 国	28.9	15.1	2.8	26.3	2.9	7.9	12.3

質問(48)：今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか

区分	全ての書く問題で最後まで解答 を書こうと努力した	書く問題で解答しなかったり、解 答を書くことを途中で諦めたり したものがあつた	書く問題は全く解答しなかった
稚内市	75.0	21.5	2.7
全 国	79.8	17.2	2.7

質問(53)：今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか

区分	全ての書く問題で最後まで解答 を書こうと努力した	書く問題で解答しなかったり、解 答を書くことを途中で諦めたり したものがあつた	書く問題は全く解答しなかった
稚内市	47.3	43.5	8.5
全 国	60.8	34.7	4.2

※「□その他」の質問は、回答に「その他」、「無回答」がある場合、割合の合計が100%とならないことがあります。

(3) 質問紙調査票の項目と正答率との関係

① 小学校調査(抜粋)

質問 番号	質問事項	平均正答率	
		肯定	否定
(1)	朝食を毎日食べていますか	61.9	47.2
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	57.6	55.4
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	59.9	50.0
(13)	学校のきまりを守っていますか	62.3	60.7
(17)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	62.4	46.9
(19)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	58.3	52.2
(21)	読書は好きですか	67.8	46.2

② 中学校調査(抜粋)

質問 番号	質問事項	平均正答率	
		肯定	否定
(1)	朝食を毎日食べていますか	59.3	35.6
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	55.8	41.7
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	58.9	34.0
(13)	学校の規則を守っていますか	57.8	54.6
(17)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	60.0	50.8
(19)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	56.7	55.2
(21)	読書は好きですか	61.9	47.3

- ☞ 規則正しい生活習慣は学力にも良い影響を与えています。
- ☞ 家庭での学習習慣づけが重要です。
- ☞ スマートフォンや携帯電話の使用ルールや約束ごとを守ることが大切です。

「規則正しい生活習慣の育成」、「家庭学習の習慣化」は、学校での指導に加え、各家庭との一層の連携・協力が必要です。

(4) 学校調査 (質問紙調査)

① 小学校調査(抜粋)

質問 番号	質問事項	肯定	
		稚内市	全国
(8)	調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか	81.8	91.1
(9)	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	100.0	87.7
(10)	調査対象学年の児童は、礼儀正しいと思いますか	100.0	87.8
(13)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	100.0	96.9
(29)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	90.9	92.1
(30)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	100.0	98.3
(51)	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	63.7	65.0
(52)	前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	81.8	70.6
(56)	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	100.0	97.8
(59)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（教科共通）	100.0	92.2
(61)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	100.0	99.3

② 中学校調査(抜粋)

質問 番号	質問事項	肯定	
		稚内市	全国
(8)	調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	85.7	89.3
(9)	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	100.0	94.1
(10)	調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか	100.0	93.5
(13)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	100.0	98.1
(30)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	100.0	84.4
(31)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	100.0	96.9
(65)	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	85.7	68.0
(66)	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	100.0	76.2
(70)	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	100.0	90.4
(73)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（教科共通）	100.0	87.0
(75)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	100.0	89.7
(77)	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	100.0	94.5

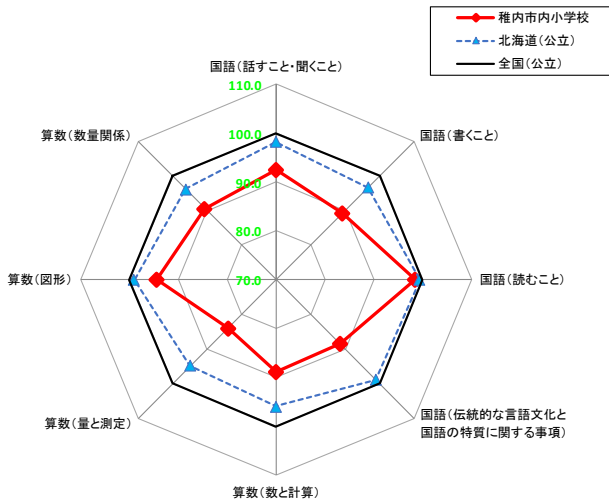
3 小中学校の状況及び学力向上策

【小学校】

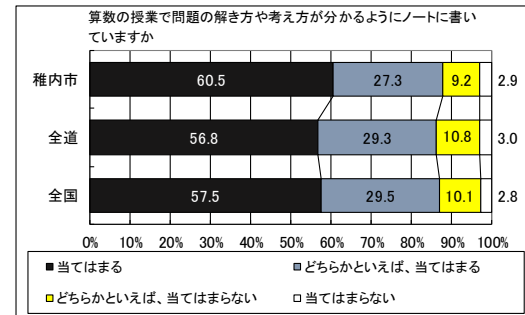
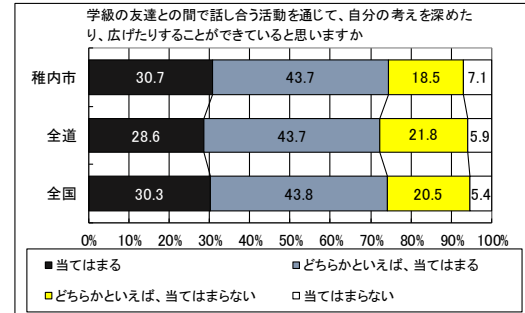
■ 稚内市内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 11校、児童数: 238人)

【教科全体の状況】

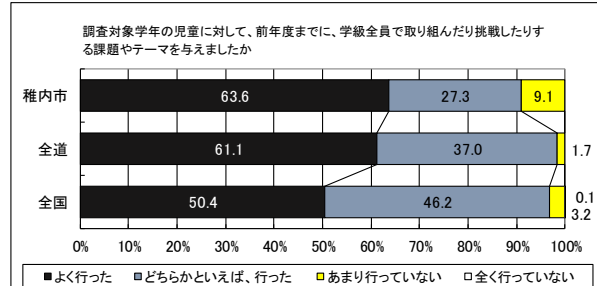
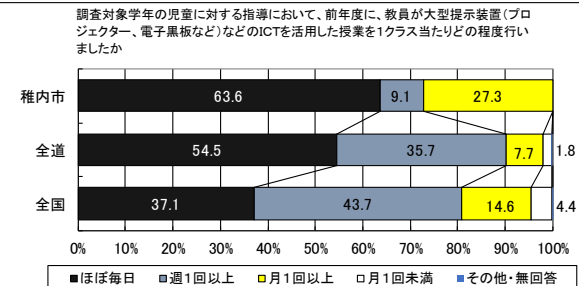
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数では、「図形」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマをよく与えたことにより、話し合い活動の充実が図られ、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童に対する指導において、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たりほぼ毎日行ったことにより、交流場面での指導の充実が図られ、「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマをよく与えた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たりほぼ毎日行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【稚内市の学力向上策】

- ◎ 第3、4学年を対象とした学校教育指導員(退職教員等)による「放課後学カゲンゲン塾」の実施
- ◎ 第1、2学年を対象とした市費負担教員の配置による少人数指導の実施
- ◎ 市費による特別支援教育支援員と学校図書協力員の配置
- ◎ ICT機器活用の推進
- ◎ 学生ボランティアによる学習の支援
- ◎ 授業改善推進チーム活用事業による授業改善の推進
- ◎ 学びの連続性を確保するための小中連携教育の推進

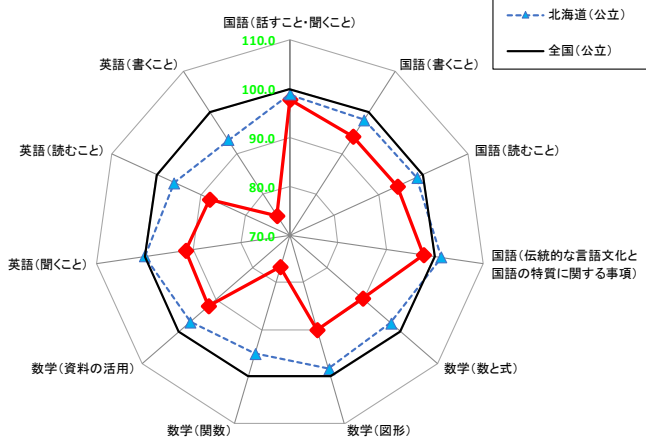
【中学校】

■ 稚内市内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 7校、生徒数: 258人)

【教科全体の状況】

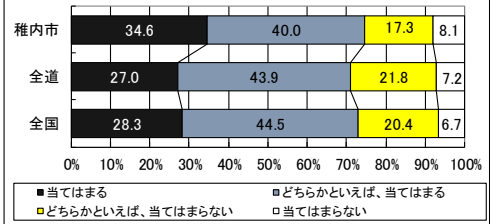
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

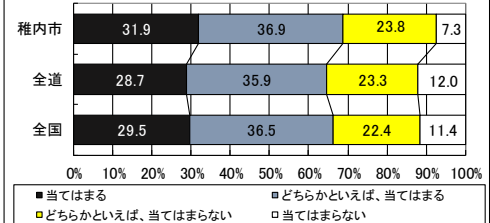


【生徒質問紙調査】

生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

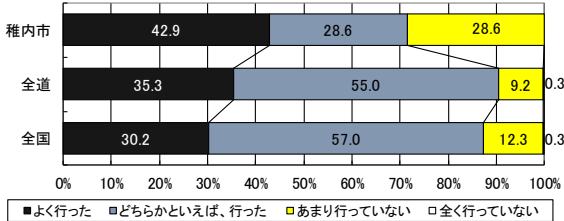


英語の授業はよく分かりますか

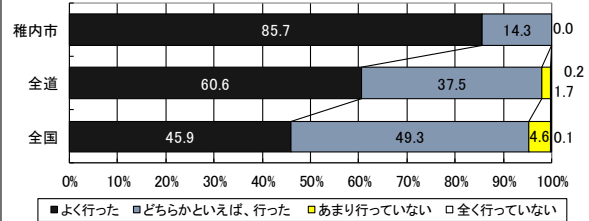


【学校質問紙調査】

調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか



調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学では、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。 ○ 英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒に対して、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマをよく与えたことにより、話し合い活動の充実が図られ、「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語の指導として、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動をよく行ったことにより、生徒は英語に対する興味・関心を高め、「英語の授業はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマをよく与えた」と回答した学校が、全国及び全道を上回っている。 	

【稚内市の学力向上策】

- ◎ 土曜授業の推進
- ◎ 学生ボランティアによる学習の支援
- ◎ 市費による特別支援教育支援員と学校図書協力員の配置
- ◎ 働き方改革推進による部活動指導員の配置
- ◎ 学びの連続性を確保するための小中連携教育の推進

※北海道教育委員会作成の「北海道版結果報告書」にも掲載されています。



平成31年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査結果
～概要と課題、そして改善に向けて～

令和2年2月作成

稚内市教育委員会学校教育課学校教育グループ

〒097-8686 稚内市中央3丁目13番15号